

Exhibit 2855

3

辯護側文書第一五〇〇一〇一三號

合衆國第七十九議會第一會期に於ける眞珠灣攻撃共同調査委員會、證據
文書第三十七號拔萃

證據文書第三十七號

基礎的證據、電報類

(十五) 海軍作戰部宛 一九四一年(昭和十六年)八月十四日附

作戰關係 合衆國艦隊司令長官

(十五) 機密 一九四一年八月十四日

發 海軍作戰部

作戰關係 大西洋方面軍司令官

情報關係 通信系第十一、十二、十三、通信第十四、十五、十六、

一四二一五五號

先に北大西洋にあつた「オレンヂ、シツブル」や南大西洋航路を航行の密

柑搭載船はマゼラン經由日本に歸還中。大西洋岸の船は油槽船四隻のみ米國に向け航行中の船は皆無、北大西洋向の船もなし。南米西海岸にある船は概算十七隻。ロスアンゼルスよりパナマに向ふ船皆無。日本は急速に世界航路よりの脱退を完成中。定期航行は廢止され、中國及日本の海地以外にある大部分の船は本國行。パナマ運河通過の拒絶、輸出統制制限、燃料補給及港湾施設使用の拒否、並に資金凍結等の手段に依る米英、蘭の壓迫の結果海運の再開の時期は不明。

(「眞珠灣攻撃」第十四卷第一四〇一頁)